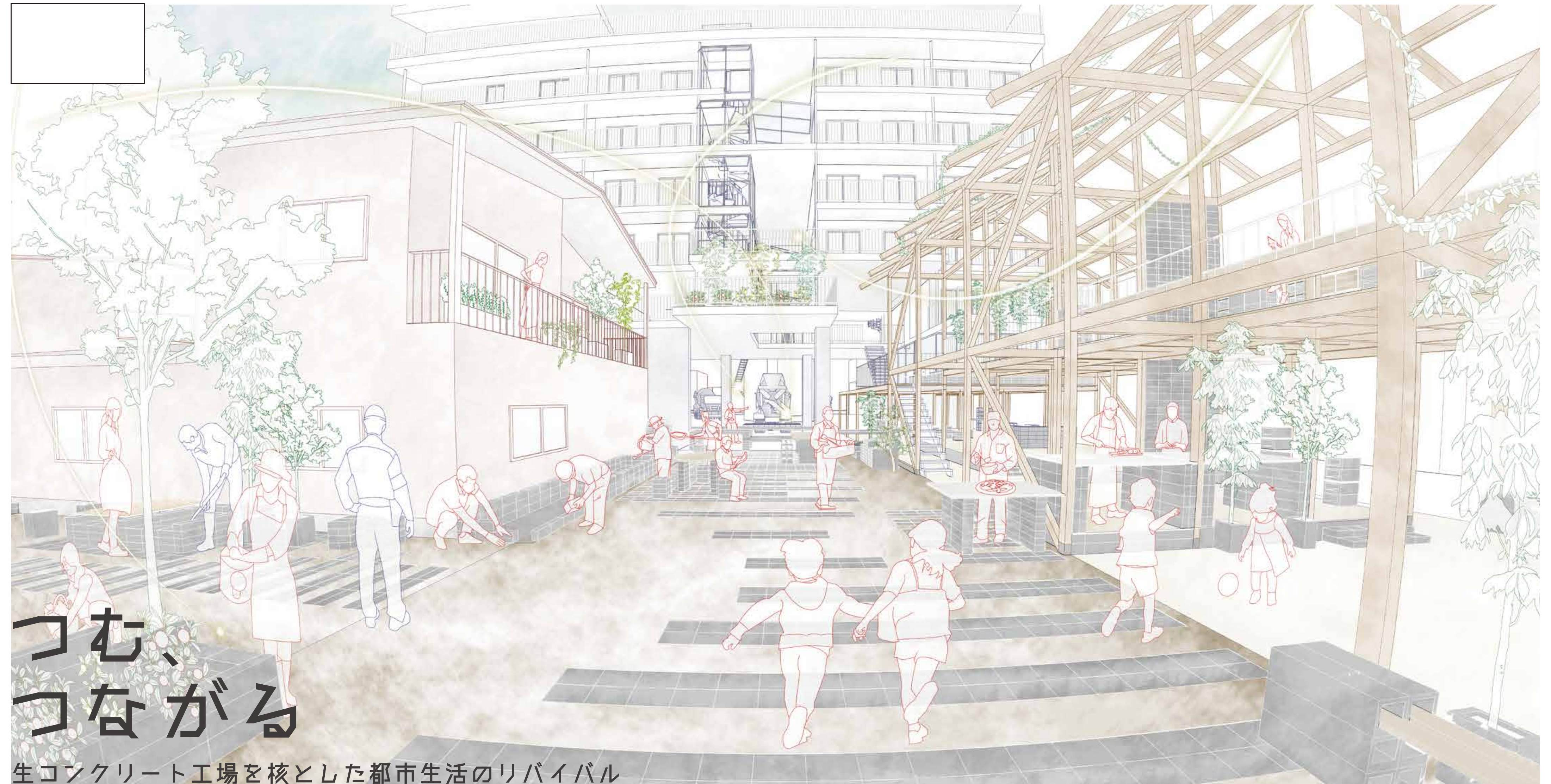




生コンクリート工場を核とした都市生活のリバイバル

住工が近接する生コンクリート工場

目黒区に位置する生コンクリート工場周辺を選定。工場は社員住宅が併設し、住空間に囲まれているため過密化しながら住工近接する都市の形態を象徴する。生活の拠点となる住空間側から計画を行い、都市における職と住の分断された関係性を再構築していく。

地域コミュニティの再編

地域コミュニティの衰退により生活は個人単位で完結する機会が多くなった。そこで共有の資源（空間・物質的）に対し住民が参加するシステムによって地域コミュニティを再編し、コミュニティを形成する場を構築する。

捨てるモノのリバイバル

Step 1 現場で大量に発生する残コン
Step 2 工場で残コンをブロック化
Step 3 主体的な参加
日常で発生する捨てるモノを共有の資源とし、自ら資源化・空間構成することで共生関係を構成していく。主体的に維持・管理を行うことで個人的な庭が共有庭に変容する。

新たに築く都市共生

希薄化した職と住の関係は共有庭によって関係が再構成される。資源・人は双方から流れが生まれ、自己的な利益でなく双方の活動による共有の利益によるコミュニティが形成される。

「つむ」ことで「つながる」 残コンブロックによる職住間のふるまい

① 残コンのブロック化

Type A, Type B, Type C

② 「つむ」ことによる空間構成

子どもや高齢者でも運べる重量 (8kg-22.5kg)
凹凸を利用した施工不要の容易な積み上げ

③ 「つながる」職と住そして建築と都市

職 Workplace, 住 Housing, 生コン工場 Site, 都市 Urban

住工が近接する 生コンクリート工場

これからの都市における職と住の共生による commons とは
廃棄物・コミュニティの再生するリバイバルネットワークの波及
→ 都市に住まう人の参画による地域コミュニティの再編により都市のランドスケープが構成される

タイル, 職, 花壇, テーブル, ビザ席, 椅子, 職コンクリート工場, コモンコンポスター, コモンライブラリー, コモンキッチン, コモン菜園, コモンリビング, コモンコンポスター, クローズコモンガーデン, ガーデンパス, 公園利用者が活動に参加する

住民の集うコンポスト

工場職員と住人のワークショップ

目黒通り, 生コンクリート工場, コモンライブラリー, コモンキッチン, コモンリビング, コモンコンポスター, クローズコモンガーデン, ガーデンパス, 公園利用者が活動に参加する

職コンクリート工場

住戸所有の庭